医療法人協治会 杜葉病院

のびのびリング

2014 夏 第5号

http://www.yuzuriha.or.jp/　編集発行：医療法人協治会　杜葉病院　☎095-878-3734

雲仙市の愛野町にある愛野展望台付近で撮影

「出張相談」はじめました

現在、精神科医療も大きな時代の転換期を迎えています。今後の精神保健医療福祉の改革ビジョンの中でも、「入院医療中心から地域での医療中心へ」という基本理念が掲げられています。杜葉病院としても、時代の流れに沿った医療サービスとして、病院から地域へ積極的に出向き、地域医療のためのサービス提供ができればと思っております。

今回、地域医療に係る関連機関との密なる連携を築き、地域住民の方々が気軽にご相談いただける環境を提供できるように、「出張相談」を始めることにいたしました。

お気軽にご相談ください。

院長　矢次正東

病院理念

患者様本位の医療と看護

基本方針

一、人間としての尊厳と生活の質を重視した全人的なケアの提供
二、地域社会との連携を目指した医療・看護サービスの提供
三、職員の専門知識の向上による医療・看護の充実

私たちからお伺いします！

出張相談いたします

こころのかぜひいていませんか？

「最近、眠れない」、「食欲がなくなった」
「仕事でのストレスで体調がすぐれない」
「毎日がゆううつで何もしたくない」
「最近、親が物忘れがひどくなった」等々、
誰にも悩みを話せない・・・でもどうにかしたい！
そのような悩みがあれば、私たちからお伺いし
お話を拝聴します。
一緒にお悩みを共有しながら、「こころの元気」を
取り戻すお手伝いをさせてください。

電話受付：平日（月～金）（10:00 ～ 16:00）まで（予約制）

※まずは、お気軽にお電話ください。
相談料は無料です。

お問い合わせ先（０９５－８７８－３７３４）
事務局総務課　担当：吉田形（よしだがた）和伸
地域生活支援課　担当：冨永照代

「出張相談」は、6月から始めていますが、
すでに相談者や利用者からさまざまな
ご意見やご感想をいただいていますので、
一部ご紹介いたします。

関連機関からのコメント

こんなサービスを精神科領域で
始めてもらうのを待っていました

地域に出向いて相談を受けてくれる
サービスはいいですね

相談者からのコメント

話しを聴いてもらって
何だかこころがすっきりしました

自宅まで直接、
相談を聴きに来てくれるのは助かります

歯科室だより

平成27年度 長崎大学病院における歯科臨床研修の新規協力型臨床研修施設に選ばれました

杜葉病院歯科診療室では、目前に迫った超高齢化社会で十分活躍できる歯科医師の育成に参加したいとの考えから、卒業間もない歯科医師の臨床研修を行う、長崎大学病院協力型臨床研修施設の指定を受けることになりました。

協力型臨床研修施設とは、長崎大学病院と連携して歯科医師国家試験合格したての、若い歯科医師を、半年間研修医として、指導、教育する施設です。

これは、厚生労働省の審査により、当病院歯科診療室が、施設、設備、などのハード面、スタッフ、治療数、治療内容、スタッフ教育、各委員会の充実などのソフト面で認められたものでもあります。

当診療科としては、患者さまへの治療だけでなく、歯科医師の教育という新しい業務が加わり、スタッフ一同ますます努力して行きたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

「摂食・嚥下（えんげ）リハビリテーション委員会」を立ち上げました！

歯科医師 田島秀人

日本は今、超高齢社会となり、日本人の死亡原因に肺炎が徐々に増えてきて、なかでも誤嚥（ごえん）性肺炎が増大しております。「誤嚥」とはどういったものかというと、気管内に空気以外のものが入ってしまう事です。健康で元気な方は気管に入ってもむせて気管内から誤嚥したものを排除できますが、老化によりその機能が衰えたり、病気で寝たきりになり嚥下が弱くなったりして、誤嚥した際に、細菌も気管内に入り込み、肺炎を発症してしまいます。

誤嚥性肺炎を発症すると食事の摂取が制限されます。人間の欲望の一つである「食欲は死ぬ間際まで残る」と言われております。それが制限されると元気がなくなり、生きる希望が減退してしまいます。

当院では摂食・嚥下リハビリテーションを積極的に取り組んでおります。口腔ケアを行うことで、誤嚥しても細菌の少ない口腔内環境を整え、患者にあった食事形態を考え、嚥下訓練をしていき、食事の楽しみをもう一度味わっていただきたいという思いで取り組んでおります。

今年も盛り上がりました！「第9回 ゆず春まつり」

平成26年5月17日、第9回 ゆず春まつりが行われました。今年もボランティアの方々や外部からの出店もあり、地域とのつながりも多くなってきました。ステージ上のイベントや外部からの模擬店でさらに盛り上げていただき、地域住民の来客者も過去最高となり大いに盛り上がった病院祭となりました。

今年も多くの方に参加いただきました

病棟を、ご紹介します！

第4回 A-4病棟（精神療養病棟）

「病棟紹介」の4回目です。今回は「精神療養病棟」であるA-4病棟を紹介します。

景観に恵まれた病棟です。

A-4病棟は、A棟の最上階に位置し病棟は明るく三和方面と女神大橋・稲佐山が一望できる景観に恵まれた病棟です。

A-4病棟は精神療養病棟で、療養されている58人中、最高齢が93歳、最も若い方が26歳です。平均年齢が65歳と高く、転倒、誤嚥のリスクが高くなるため、職員も参加したラジオ体操を実施しながら運動不足の解消・筋力増強に努めています。さらに誤嚥予防のために、歯科と相談しながら“嚥下体操”をスタッフ指導のもと毎日行なっています。また患者の方の不安、不満を少しでも取り除ければと、定期的に意見交換会を行い患者様の意見を拝聴するよう心掛けています。病棟スタッフは看護師・准看護師10人、介護士10人で構成され、主な病棟活動は多彩なプログラムを組んだ作業療法です。年齢と個性に応じた作業療法を計画して遊び感覚で参加できるようプログラムをセッティングし多数の患者様が長期的に参加されています。療養生活がマンネリ化しないよう毎月誕生会・茶話会また患者様の意見を聞きながら四季に応じた花見やバスハイク、ラーメン会、かき氷会、クリスマス会、カラオケ大会などの実施や、紙工作やカレンダーを作成し、病棟に飾り付けるなど少しでも四季を感じられるよう担当作業療法士・スタッフが患者の皆様とともに参加しています。外出については、希望があれば全患者の皆様対象に、職員が付き添って院外ショッピングや外食をして楽しんでもらっています。

患者の皆様が安心して楽しめ、快適でゆとりのある療養生活が送れるようスタッフ一同頑張っています。（永田忠美）

A-4病棟スタッフの皆さん

A-4病棟
病棟師長 **永田忠美**

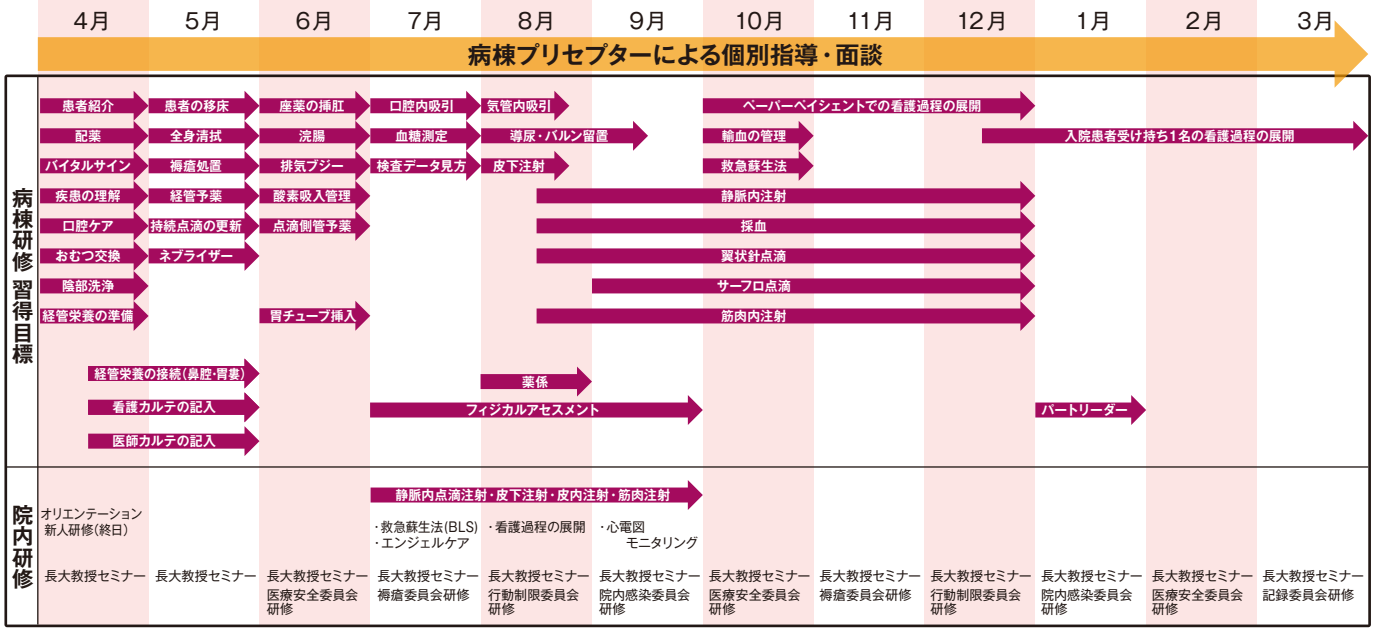
看護部教育委員会より
～卒後教育の充実を目指して～

今年度入職した職員の中には、3月に看護学校を卒業したばかりのフレッシュな看護師も含まれています。杜葉病院では新卒看護師に対する卒後教育を充実させ、どんな場面でもその専門性を発揮できる看護師の育成を目指しています。

平成26年度から、さらに充実した卒後教育になるよう、教育委員会が中心となって新人看護師および中途採用者に対する教育プログラムを一新しました。教育委員会と病棟プリセプターが連携し、個別性に沿った卒後教育が実施できるように努力しています。

研修に励む新人看護師

新人看護師教育プログラム



入院患者様の生の声

今回より、入院されている患者の皆様のそれぞれの想いや気持ちを「生の声」をとおしてお伝えしたいと思います。

第一回のテーマは、「～入院生活について～」です。

【入院患者様の生の声】
患者様と看護師が1対1で話を聞き、入院生活について生の声を聞くコーナーです。今回は統合失調症で入院しているOさん(男性、50歳代)に日中の生活について話を聞きました。

看護師： Oさん、毎日どんな風に療養生活を送っていますか？

Oさん： ご飯はおいしかよ(笑)、昼間は何もなか日けん退屈たいね。TVを見るくらいしかすることのなか。でもいつもOT(作業療法)の先生が病棟に来てから、ビデオを見たりカラオケしたり、何か作ったりして色々考えてくれるけん退屈せんよ。昨日は服薬指導もあったかな。

看護師： なるほど、実は色々盛り沢山ですね。

Oさん： そうね、日曜日はお休みやけん何もすっことのなかけどね(笑)。

看護師： そうですねぇ、じゃあ日曜日に何かみなさんと一緒に病棟でできることを考えてみましょうか！　晴れてたら屋上に外気浴に行くのもいいですね。

Oさん： そうしてくれんね！

病棟では、様々な患者様が様々な疾病を抱えて入院しておられます。1人の患者様に対して、医師や看護師だけでなく作業療法士、薬剤師、栄養士、精神保健福祉士など様々な職種が関わります。患者様一人ひとりに合った療養生活を送ることができるように、チームワークを活かして病院全体で努力しています。

地域生活支援課からのお知らせ

～患者様とご家族の方へ～

外来受診や入院相談に関しては、
地域生活支援課のソーシャルワーカーが対応します。
ささいな事でも構いませんので、お気軽にご相談ください。

～医療機関および施設の方へ～

地域医療連携の窓口として
「地域生活支援課」が、お話をうかがいますので、
ぜひご利用ください。

私たち地域生活支援課は、３年前から訪問看護により、
「より良い地域生活のお手伝いにむけたサポート」を行なっています。
さらに、ゆずクリニック（鍛冶屋町銀嶺ビル3F）でも、
常勤のソーシャルワーカーが訪問看護を行なっていますので
あわせてよろしくお願いします。

受付時間：8:50～17:10　電話 095-878-3734（代表）ファックス095-878-3289（代表）

杜葉病院は、大正13年に創設された精神科の医療機関です。
長崎市南部の緑豊かな環境の中、地域に根差した医療を心がけています。
職員一同、「患者様本位の医療と看護」の理念に基づいた人間的温かみのある医療サービスの提供に努めています。

診療科目　精神科・心療内科・内科・歯科・歯科口腔外科・矯正歯科

病床数　355床　**駐車場**　約100台

〒850-0975 長崎県長崎市三和町413番地

電話　095-878-3734
ファックス　095-878-3289

杜葉病院　検索　http://www.yuzuriha.or.jp/

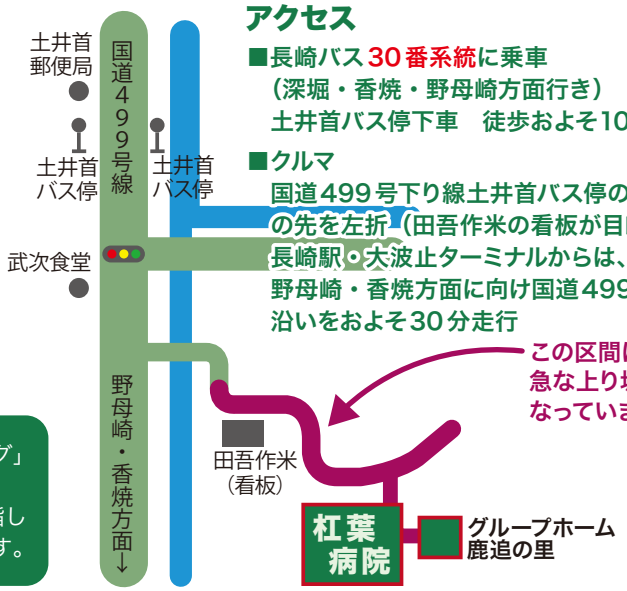
編集後記

みなさまの温かいご支援により、「のびのびリング」も創刊一周年を無事に迎えることができました。
これからも、分かりやすく親しまれる広報誌を目指して努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

アクセス

■長崎バス30番系統に乗車
（深堀・香焼・野母崎方面行き）
土井首バス停下車　徒歩およそ10分

■クルマ
国道499号下り線土井首バス停の次の信号の先を左折（田吾作米の看板が目印）
長崎駅・大波止ターミナルからは、野母崎・香焼方面に向け国道499号線沿いをおよそ30分走行



当院へ徒歩でお越しの際は、坂の登り口より電話（095-878-3734）していただければ、坂の下までお迎えに参りますので遠慮なくご利用ください。（土日祝は除きます）